

男女共同参画委員会企画ショートトーク

大阪医科薬科大学リウマチ膠原病内科

平松ゆり

自己紹介



- 主人(脳神経外科医)・長女(小学5年生)・長男(小学2年生)・次男(2才)
- 義父：2年前に上顎洞癌を患い、現在近くのホームに入居中
- 役職：大阪医科薬科大学リウマチ膠原病内科 助教 (短時間雇用)
(就業時間 9：00 - 16：30)
- 大学での業務：
 - ⇒外来診療 (診察、検査：関節エコー、救急外来対応)
 - 病棟業務(母性内科患者対応)
 - 学生講義
 - 臨床研究

リウマチ医 (→母性内科医)を目指したきっかけ症例

- 28才女性
- 2012年の第一子妊娠経過中に左顔面の皮疹、手指に掻痒感及び疼痛を自覚した。
- 妊娠21週の妊婦健診で子宮内胎児死亡を認め、その際顔面の皮疹の増悪を認めた。血液検査にて全身性エリテマトーデス(SLE)を疑われ当院紹介となった。
- 抗核抗体陽性(320倍)・抗ds-DNA抗体陽性・抗RNP抗体陽性・汎血球減少を認めSLEと診断された。
- SLEの治療開始(PSL55mg + TAC + HCQ)。



- その後寛解維持し、2014年に第2子、2016年に第3子を出産された。

PSL：プレドニゾロン TAC：タクロリムス HCQ：ヒドロキシクロロキン

リウマチ医をめざしたきっかけ



リウマチ膠原病疾患は
慢性疾患である。
患者さんの人生に寄り添う
医療がしたい。

産婦人科医を目指していた

これまでの経歴

仕事

- 2009.3 関西医科大学卒業
- 2009.4 大阪医科大学病院で臨床研修開始
- 2011.4 同大学リウマチ膠原病内科入局
- 2012.7 日本内科学会 内科認定医資格取得
- 2013.4 膠原病母性内科外来開設、担当
- 2015.4 同大学大学院博士研究課程入学・関節エコーソノグラファ取得
- 2018.3 日本リウマチ学会専門医資格取得
- 2019.3 大学院博士研究課程修了
- 2019.4 大阪医科大学病院 助教
- 2020.3 日本リウマチ学会指導医資格取得
- 2021.3 日本女性医学会 女性ヘルスケア専門医取得

プライベート

- ← 2009.8 結婚
- ← 2012.2 第一子長女出産
- ← 2014.11 第二子長男出産
- ← 2019.11 第三子次男出産



母性内科学との出会い

- 元々女性ヘルスケアに興味があった.
- 自分自身も人生プランを考えていく上で、『妊娠・出産・子育て』は特に関心があり、膠原病女性に対しても何かサポートしたいと考えた.



日本母性内科学会

 医療従事者向け情報

 学会員向け情報

 患者さん向け情報

eラーニングログイン

学会入会申し込み

[ホーム](#) | [学会について](#) | [母性内科学とは](#) | [プロバイダー制度](#) | [イベント](#) | [イベント演題情報](#) | [お知らせ](#) | [入会案内](#) | [お問い合わせ](#)

妊娠を希望する女性に
適切な医療と教育を提供し
よりよい妊娠転帰と産後の
長期的な母児の健康維持を目指す

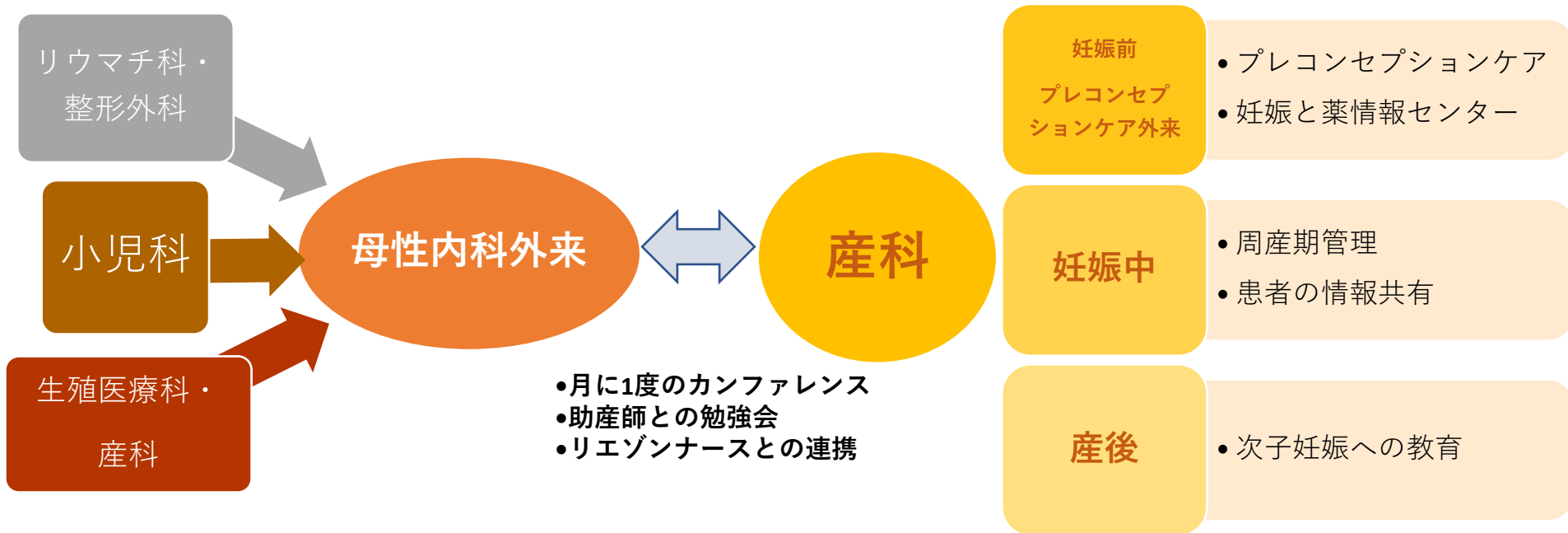
2015年に発足

2013年4月～

大阪医科大学リウマチ・膠原病内科で
膠原原病母性内科外来を開設。



産婦人科・小児科との連携体制



PAPER

Changes in the blood level, efficacy, and safety of tacrolimus in pregnancy and the lactation period in patients with systemic lupus erythematosus

Y Hiramatsu¹, S Yoshida², T Kotani¹, E Nakamura¹, Y Kimura¹, D Fujita³, Y Nagayasu³, K Shabana⁴, S Makino¹, T Takeuchi¹ and S Arawaka¹

¹Department of Internal Medicine (IV), Osaka Medical College, Osaka, Japan; ²Department of Internal Medicine, Arisawa General Hospital, Osaka, Japan; ³Department of Obstetrics and Gynecology, Osaka Medical College, Osaka, Japan; and ⁴Department of Pediatrics, Osaka Medical College, Osaka, Japan

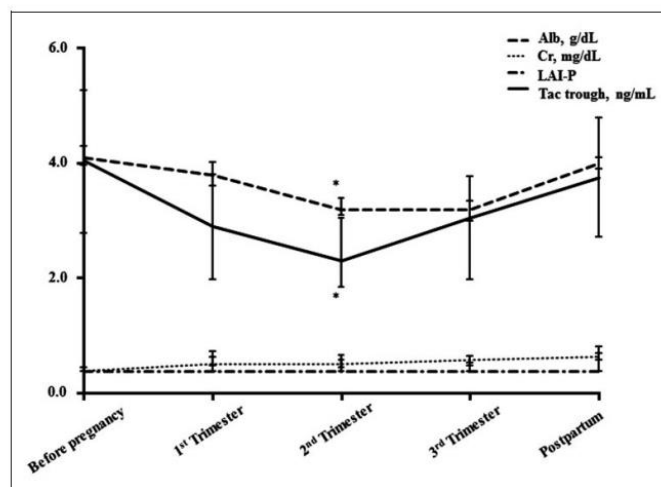
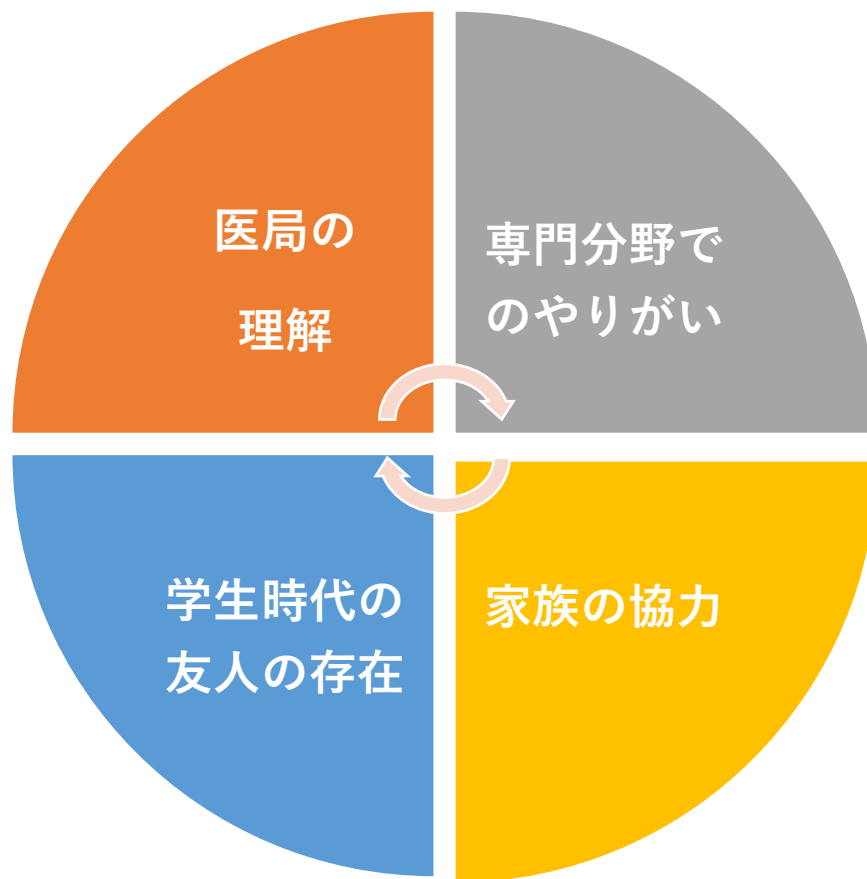


Figure 1 Tacrolimus trough levels, Lupus Activity Index in Pregnancy (LAI-P) scores, and serum levels of albumin and creatinine during the course of pregnancy in the patients with systemic lupus erythematosus. The *P* values were estimated using the Mann–Whitney *U* test. **P* < 0.05.

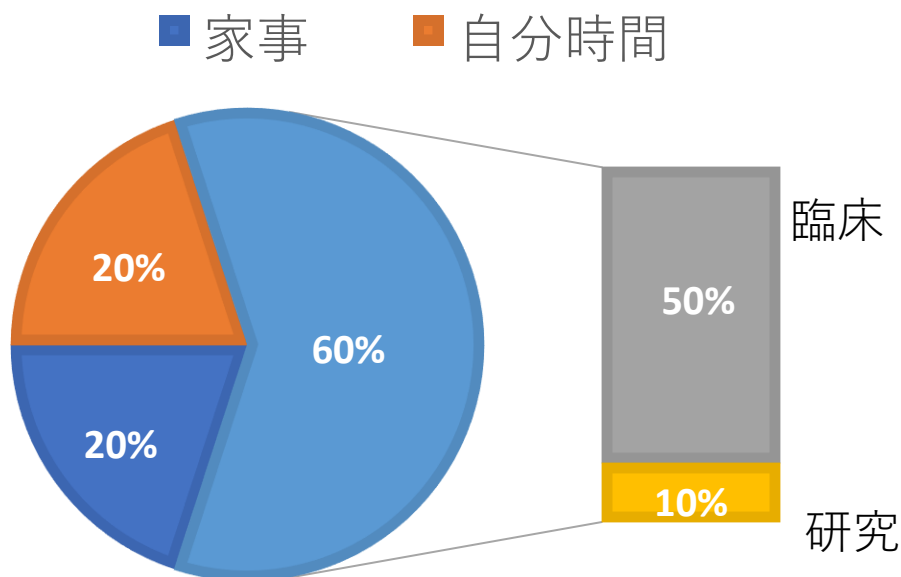
仕事を続けてこられた理由



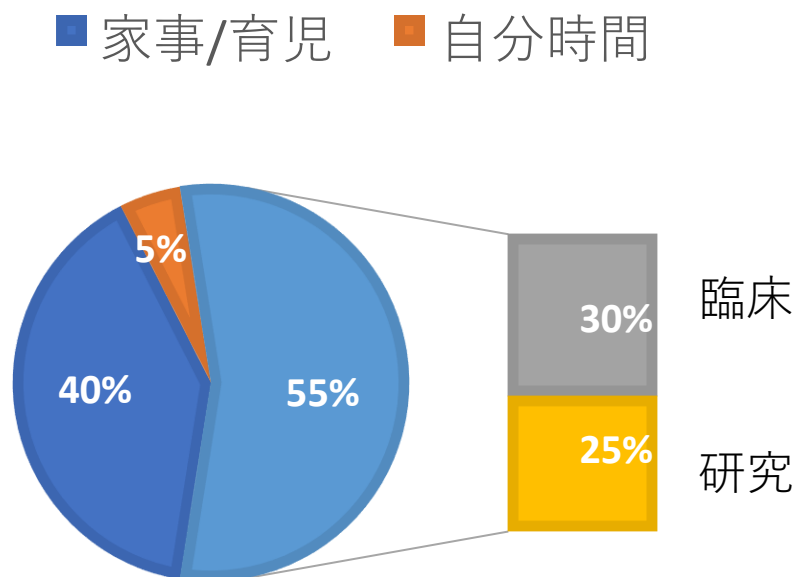
実際のライフワークバランス

結婚～第二子出産後までのワークライフバランス

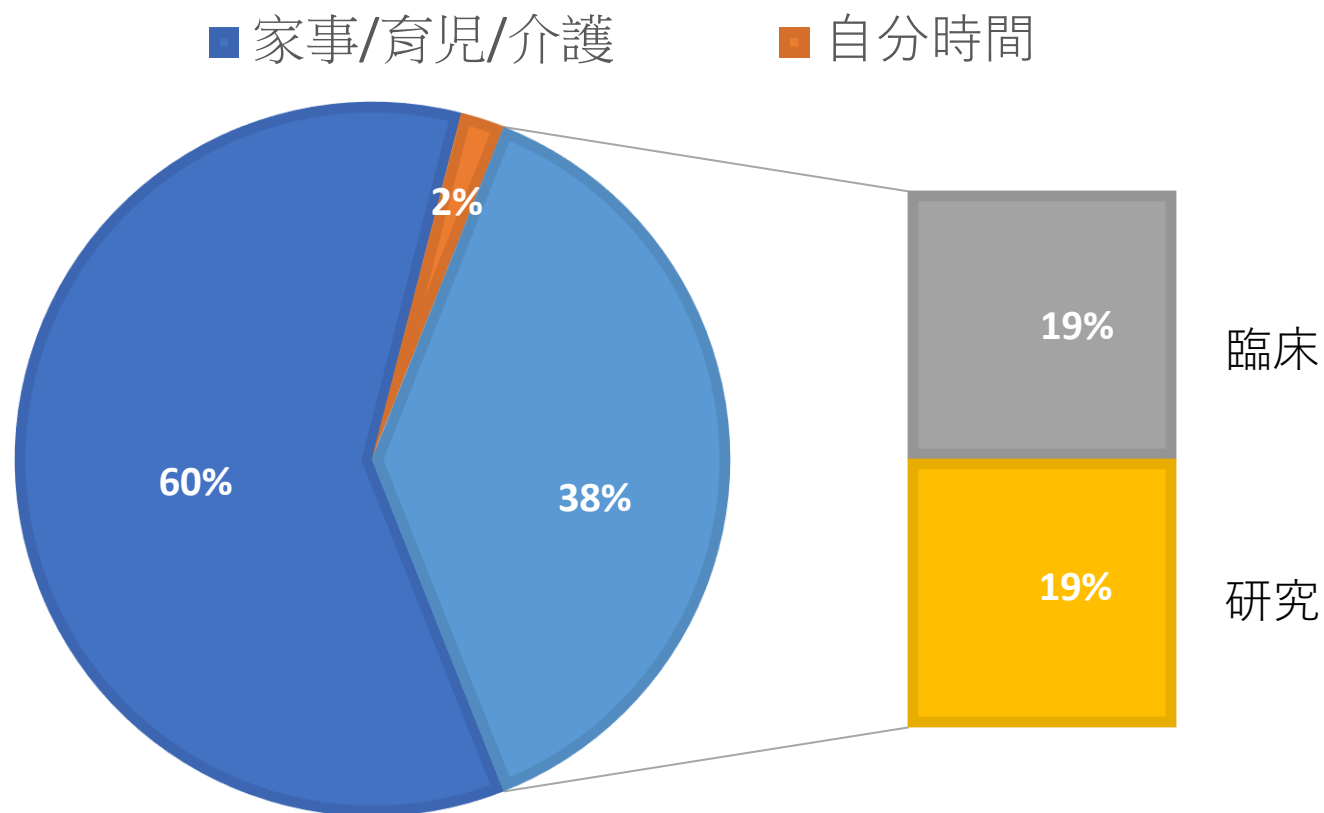
結婚～妊娠前



出産後(第一子、第二子)



第三子出産以降(現在)のワークライフバランス



ライフプランと仕事の両立

- それぞれの立場や背景が違い、中々モデルケースを見つけることは難しい.
- やりがいのある分野、仕事、仲間を持てることは仕事を続けていくモチベーションとなる.
- 子育て女医だけでなく、男女、様々な立場の先生が助け合い、補い合っていく様なシステム作りが必要.
- マンパワーは大変重要であるため、リウマチ膠原病内科学の魅力を研修医や学生に伝えていく事が大切ではないか.